

多収米

福井の稲作を強い粒づくり『大粒&多収』でつなぐ

にじのきらめき

JA福井県
多収米協議会

【No.1】

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

にじのきらめきは5月中旬より田植え作業が始まりました。気象庁より向こう1か月の気象情報が発表され、全国的に暖かい空気に覆われやすいため、気温は平年より高くなり、特に期間のはじめは高温になる見込みで、降水量・日照時間は平年並みの予報が出ています。田植え後の管理には十分注意し、熱中症対策など健康管理には留意してください。

1. R7にじのきらめき作付状況

にじのきらめき(シャインパール)の収量向上を目指して、JAでは、生産者代表とJA・関係機関で多収米協議会を設置しました。今後、協議会の活動により生産者の皆さんの収量向上支援を行います。今年度の栽培状況は22名・52.5haです。

①R7多収米協議会の単収目標

- にじのきらめき：10.0俵

③R7作付けJA合計 52.5ha

坂井地区 21.0ha

福井地区 12.2ha

丹南地区 10.4

嶺南地区 8.7h

②にじのきらめき収量向上支援

- 各種研修会の開催(栽培研修会・作見会)
- 栽培情報発信(JAコネクト)
- 収量向上試験の実施

【5月15日 にじのきらめき田植え】



南江守生産組合(福井市南江守町)

2. 除草剤散布後の水管理

- 水管理の徹底が薬剤成分の流失を防止し安定した除草剤効果を発揮します。

田植直後、又は田植後3～5日の散布



- 除草剤散布量の調整(確認)

散布後7日

入水

散布後、7日間かけ流し、落水をしない!!

自然減水

入水

通常水管理

- 除草剤散布後7日間は、田んぼの水を外には出さない。
- あぜ塗りや畦畔シートで、畦畔からの漏水を防ぎましょう。

田面露出に注意

- 7日間の間に田面が露出した場合は、入水し水位を保ちましょう

畦畔管理

- 排水口をしっかり閉める
- 漏水(モグラ穴)の点検・補修(農薬が河川に流れるのを防ぐことは環境保全につながります)

多収米の栽培や複数年契約のお問い合わせは、担当営農指導員までお願いします。